



# 2021年度（2022年3月期） 決算説明会

2022年5月17日

東証プライム 4559

ゼリア新薬工業株式会社  
代表取締役社長 伊部 充弘

# I. 2021年度連結業績

---

I-1 概要

I-2 医療用医薬品事業

I-3 コンシューマーヘルスケア事業

I-4 海外売上高

	2020年度		2021年度		
	実績	売上比	実績	売上比	対前年伸率
(百万円)					
売上高	52,757	100.0%	59,532	100.0%	12.8%
売上総利益	36,960	70.1%	42,148	70.8%	14.0%
販売管理費	33,484	63.5%	35,782	60.1%	6.9%
研究開発費	5,411	10.3%	4,789	8.0%	-11.5%
広告宣伝費	1,783	3.4%	1,963	3.3%	10.1%
営業利益	3,475	6.6%	6,366	10.7%	83.2%
経常利益	3,208	6.1%	5,935	10.0%	85.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,143	6.0%	3,961	6.7%	26.0%
一株当り配当	34円		35円(予定)		

※2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用。2020年度にも遡及適用して表示。

- ◆ ディフィクリア、アコファイドが増収に大きく貢献
- ◆ フェインジェクトの伸長などにより、長期収載品を含めたその他品目は下げ止まり

	2020年度	2021年度	
	実績	実績	前同伸率
(単位：百万円)			
医療用医薬品事業	29,951	37,006	23.6%
アサコール	16,509	17,476	5.9%
ディフィクリア	259	5,211	1,906.3%
エントコート	4,814	4,480	-7.0%
アコファイド	1,667	3,154	89.2%
その他	6,699	6,684	-0.2%

## 対前年増減要因

	前年対比	増減要因	
		国内	海外
アサコール	+5.9%	(+)後発品処方からの切替増	(+)800mg錠、1600mg錠が好調に推移
ディフィクリア	+1,906.3%		(+)年間を通じて売上計上
エントコート	-7.0%	(+)ゼンタコート 受診抑制緩和等により堅調に推移	(-)カナダ、スペインなど在庫調整による影響等
アコファイド	+89.2%	(+)単独プロモーションへの切替に伴い在庫調整が解消 受診抑制緩和等も寄与	
その他	-0.2%	(+)フェインジェクトの伸長 (-)一部長期収載品の減少等	

## I-3 コンシューマーヘルスケア事業

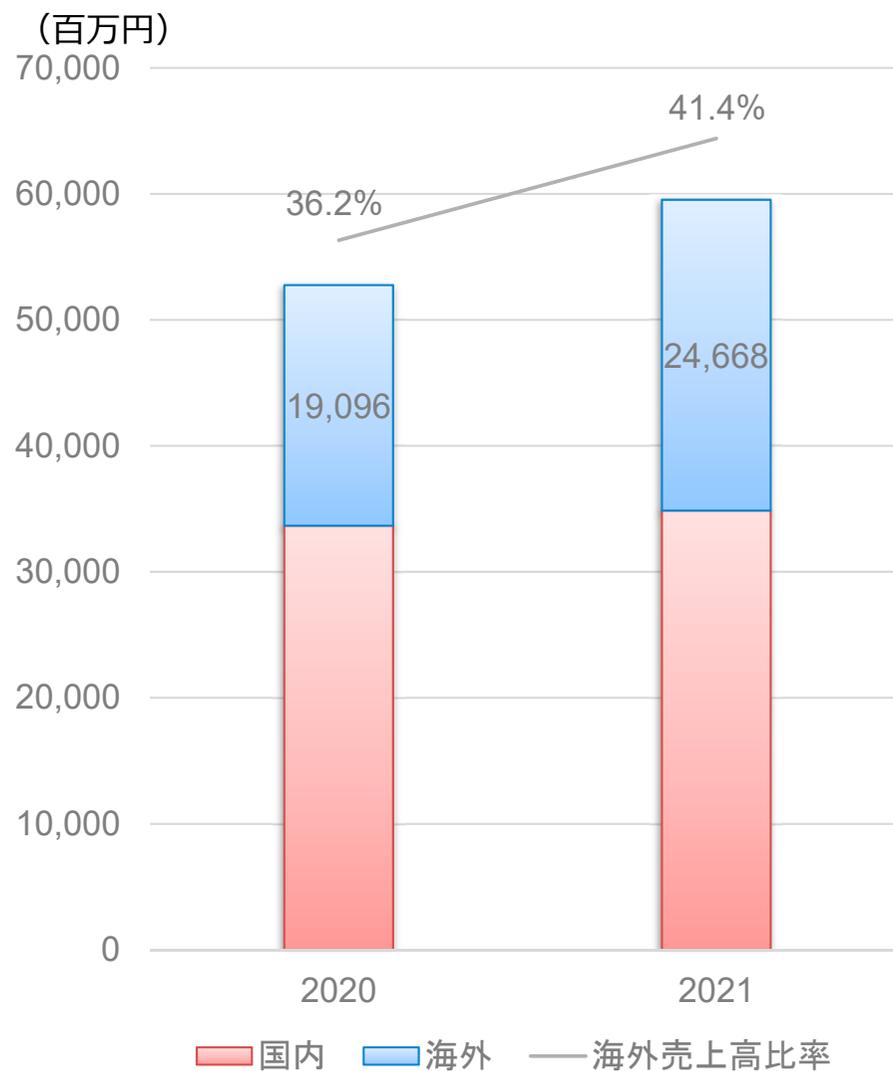
- ◆ ヘパリーゼ群の売上が回復する一方、コンドロイチン群、ウィズワン群や殺菌消毒薬などが苦戦し、セグメント売上は減少

	2020年度	2021年度	
	実績	実績	前同伸率
(単位：百万円)			
コンシューマーヘルスケア事業	22,648	22,370	-1.2%
ヘパリーゼ群	6,615	7,770	17.5%
医薬品	3,653	4,345	18.9%
清涼飲料水 栄養補助食品	2,961	3,425	15.7%
コンドロイチン群	5,383	5,135	-4.6%
ウィズワン群	1,445	1,359	-5.9%
その他	9,204	8,104	-12.0%

## 対前年増減要因

		前年対比	増減要因
ヘパリーゼ群	医薬品	+18.9%	(+)「疲労回復」「代謝改善・促進」などをキーワードとした製品特長の訴求などにより通期にわたり伸長
	清涼飲料水 栄養補助食品	+15.7%	(+) 新型コロナウイルス感染（第4波・第5波）の影響を受け 上期は前年並みに止まるも、下期は感染状況が改善する中で伸長し、通期では前年比伸長
コンドロイチン群		-4.6%	(-)競合品の影響を受ける状況下、新規顧客の獲得が進まず減少
ウィズワン群		-5.9%	(-)競合品の影響を受ける状況下、新規顧客の獲得が進まず減少
その他		-12.0%	(-)殺菌消毒薬等の需要一巡による売上減少

## ◆ 海外売上高は前年に対して29.2%増と大幅に増加



## Ⅱ. 2022年度の取り組み

---

- Ⅱ-1 医療用医薬品事業
- Ⅱ-2 コンシューマーヘルスケア事業
- Ⅱ-3 2023年3月期 連結業績概要
- Ⅱ-4 開発パイプラインの状況
- Ⅱ-5 持続的成長に向けた取り組み
- Ⅱ-6 執行役員制度導入

### 国内市場

- アコファイド、アサコール、フェインジェクトに注力

### 海外市場

- 3つの主力製品（DIFICLIR、ASACOL、ENTOCORT）に注力
- 特に DIFICLIR に注力



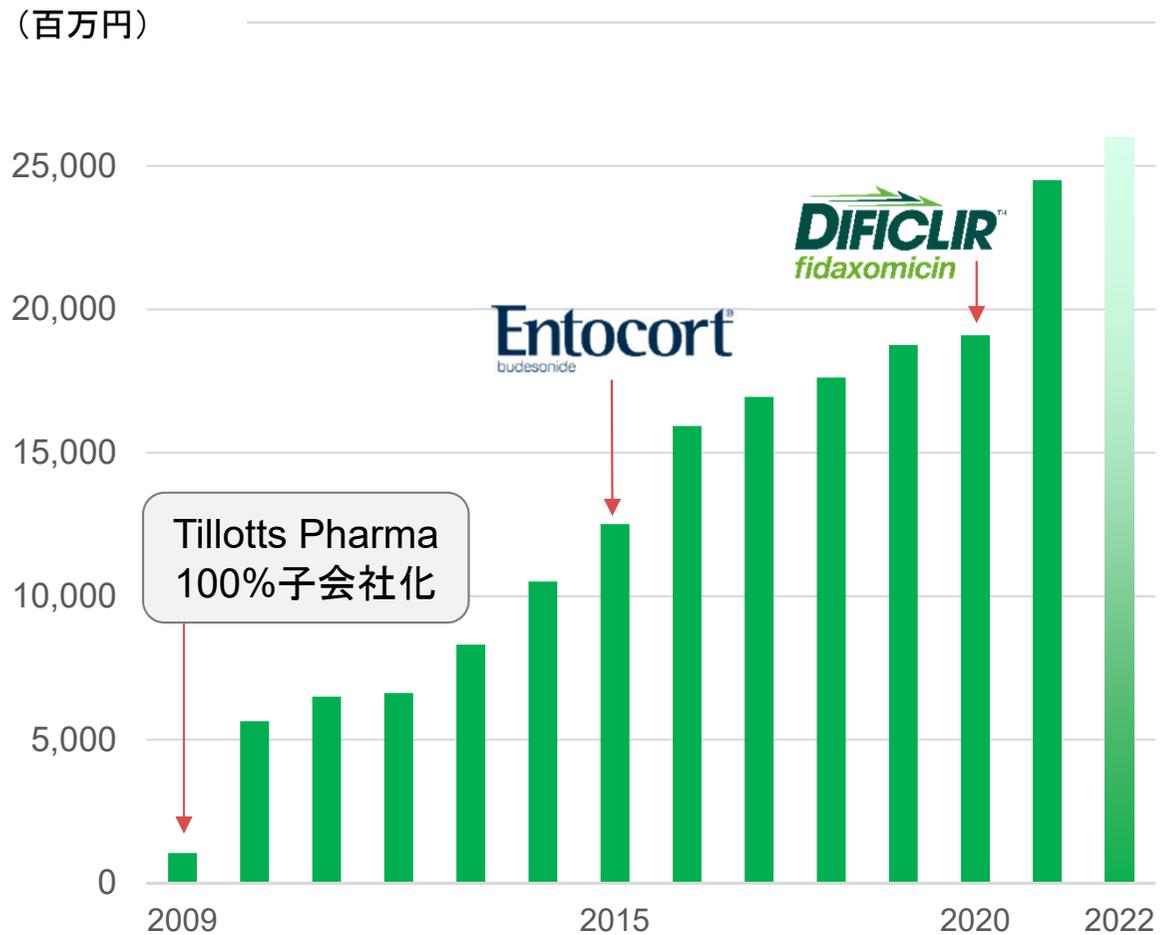
Tillotts連結子会社化を機に海外売上高は大きく伸長

世界64カ国で製品を販売



### 子会社8社を設立

- 2004 アイルランド
- 2008 スウェーデン
- 2010 イギリス、チェコ
- 2011 スペイン
- 2013 ドイツ
- 2016 フランス
- 2021 イタリア



### Dificlirの展開に有利な市場環境が整いつつある



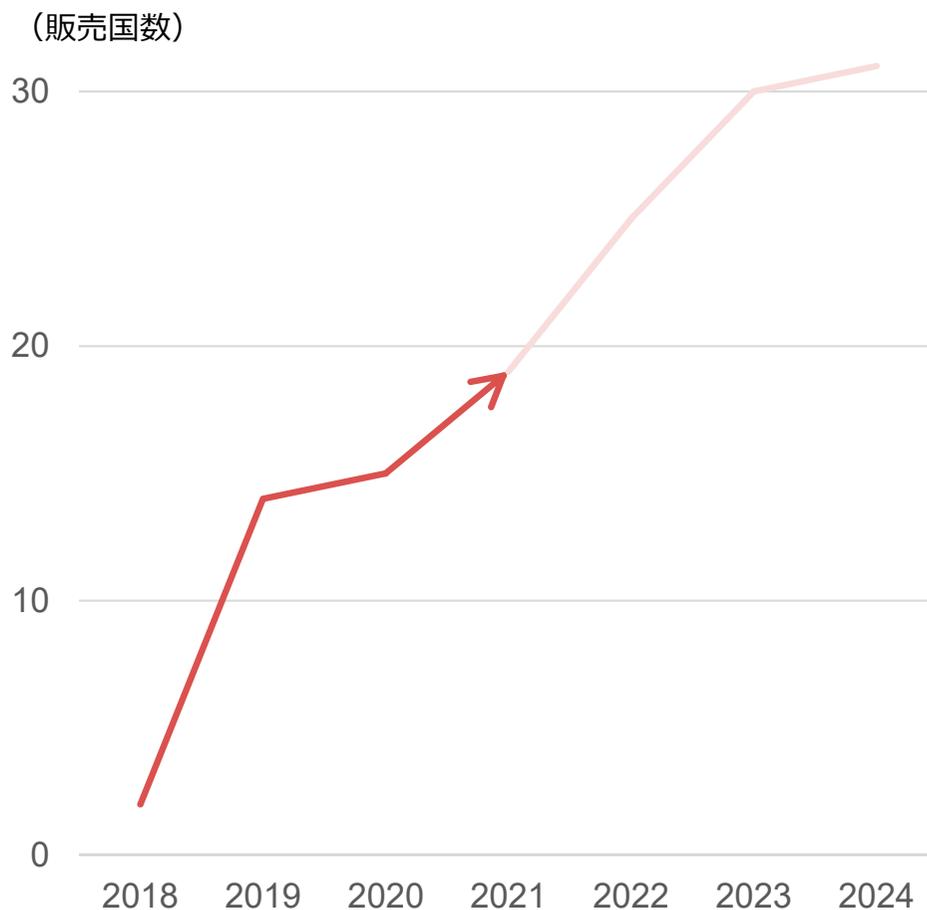
- 2021年に発行された複数の診療ガイドラインにおいて  
クロストリジウム・ディフィシル感染症治療薬として推奨される

欧州臨床微生物感染症学会 (ESCMID)	初回治療 再発リスク大の症例	第1選択薬
米国医療疫学学会(SHEA)/米国感染症学会(IDSA)	初回治療 初回再発	第1選択薬
英国国立医療技術評価機構 (NICE)	初回治療 再発症例	第2選択薬 第1選択薬

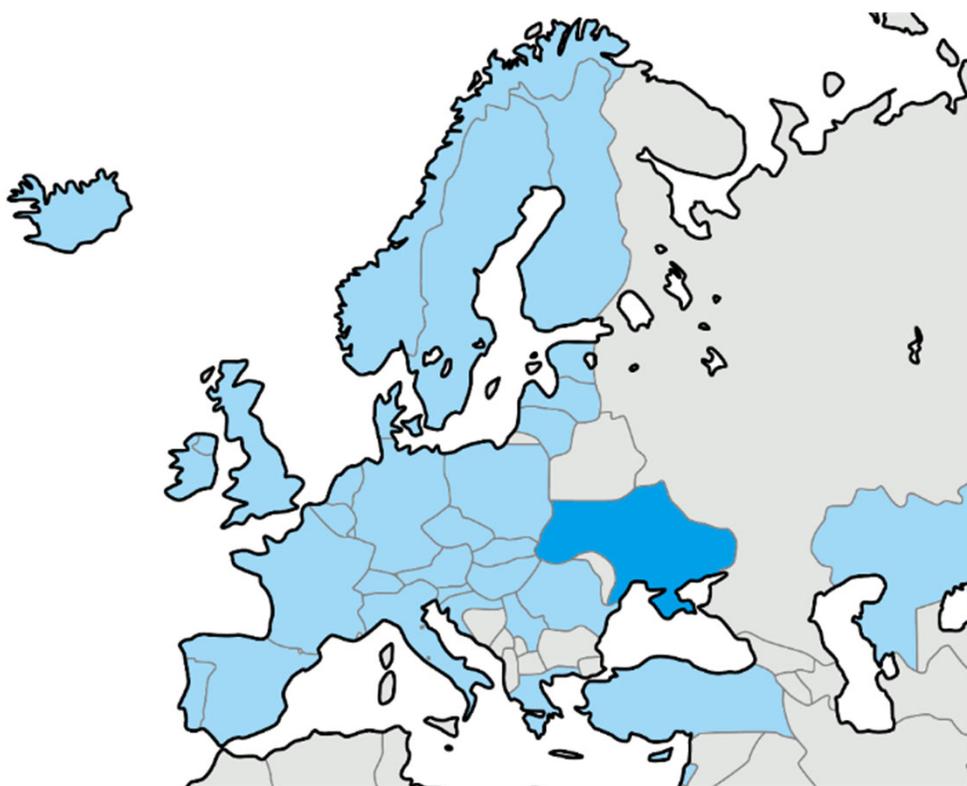
- これらのガイドラインでの推奨によって、フランス、イギリスなど欧州主要市場の環境は、DIFICLIRにとって有利に推移すると考えられる
- 営業リソースを積極的に投入し、医療機関へのアクセスを強化  
売上増を見込む

- ドイツ、フランスをはじめとする19カ国で販売(2021年12月時点)
- 売上は前年比で約3倍に伸長
- 競合する高用量製剤からの切替促進を目指し、プロモーションを展開
- 引き続き販売国を拡大

### 欧州を中心に販売国拡大中



### 欧州市場 地政学リスク



欧州におけるTillotts製品販売国

- Tillottsは英国やEU加盟国を中心に欧州域内で製品を販売
- ウクライナ情勢の影響
  - 現時点では欧州全域で大きな影響は認められない
  - ロシアとの取引なし
  - ウクライナへの販売見通しは立たないものの、金額は大きなものではなく、売上全体への影響は限定的

### ヘパリーゼ群

- 医薬品ヘパリーゼ群  
肝臓水解物の滋養強壮効果の認知促進
- ヘパリーゼW群  
コンビニエンスストア各社との共同企画、SNSを通じた販促キャンペーンを展開

### コンドロイチン群

- コンドロイチン硫酸Naの作用認知促進
- プロモーションの対象層の枠を広げたプロモーション強化

### ウィズワン群

- 積極的な広告宣伝活動の展開
- プロモーションの対象層の枠を広げたプロモーション強化

### イオナ化粧品群

- シリーズ化したスパ&ミネラル エッセンス製品の店頭育成、イオナRシリーズの広告宣伝展開

### 新たなカテゴリーとして西洋ハーブ群開発を継続・育成

- 2014年 月経前症候群治療薬 「プレフェミン」
- 2021年 軽度の静脈還流障害による足のむくみ改善薬 「ベルフェミン」
- 2022年 過敏性腸症候群（IBS）改善薬 「コルペルミン」

さらなる新製品開発を計画



プレフェミン



ベルフェミン



コルペルミン

### プレフェミン 要指導医薬品から第1類医薬品へ



- 再審査期間（8年）が終了し、2022年4月より第1類医薬品へ移行
- インターネットメディアなどを通じたPMSの認知向上・啓蒙を継続し、引き続き店頭での販売育成に注力

### 国内 医療用医薬品事業

- アサコール  
数量ベースでは増量を見込むも、薬価改定の影響大
- アコファイド  
患者の受診抑制のさらなる緩和、胃内視鏡検査の拡大  
営業リソースの積極的な投入による売上増
- フェインジェクト  
営業リソースの積極的な投入による売上増

### 海外 医療用医薬品事業

- ASACOL  
1600mg錠 販売国の追加、販売国における売上増、新製剤の上市国追加など
- ENTOCORT  
カナダなど在庫調整からの回復
- DIFICLIR  
診療ガイドラインで処方推奨されるなど、市場環境が有利に推移

### コンシューマヘルスケア事業

- ヘパリーゼ群
  - 医薬品ヘパリーゼ群  
製品特長を明確に訴求したプロモーション活動の継続実施による売上増
  - ヘパリーゼW群  
SNSを通じた販促キャンペーン、コンビニ各社とのタイアップ企画の実施による売上増
  
- コンドロイチン群  
成分特長を明確に訴求したプロモーション活動の実施による売上増
  
- 西洋ハーブ群
  - プレフェミンの第1類医薬品移行
  - ベルフェミン・コルペルミンの疾患啓蒙による認知度向上

## Ⅱ-3 2023年3月期 連結業績予想

	2022年3月期	2023年3月期	
	実績	予想	対前年伸率
(百万円)			
売上高	59,532	66,000	10.9%
営業利益	6,366	7,000	10.0%
経常利益	5,935	7,000	17.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,961	5,600	41.4%
一株当り配当	35円(予定)	36円(予想)	
研究開発費	4,789	5,000	4.4%
広告宣伝費	1,963	2,900	47.7%
海外売上高	24,668	27,500	11.5%

## Ⅱ-4 開発パイプラインの状況

### 国内開発

開発番号／名称	開発会社・機関	適応症	Phase1	Phase2	Phase3	申請	承認取得	販売
Z-338 (アコファイド)	ゼリア	小児 機能性ディスペプシア	[Progress bar]					
ZG-801	ゼリア	高カリウム血症	[Progress bar]					
Z-338 (アコファイド)	九州大学	食道胃接合部通過障害 (医師主導治験)	[Progress bar]					

### 海外開発

開発番号／名称	開発会社・機関	適応症	Phase1	Phase2	Phase3	申請	承認取得	販売	
Z-206 (アサコール)	ゼリア・ Tillotts	潰瘍性大腸炎	[Progress bar] 中国						
Z-338 (アコファイド)	ゼリア	機能性ディスペプシア	[Progress bar] 欧州						
Z-338 (アコファイド)	Meiji Seika ファルマ	機能性ディスペプシア	[Progress bar] タイ・インドネシア						
Z-338 (アコファイド)	Faes Farma	機能性ディスペプシア	[Progress bar] ラテンアメリカ4カ国 チリ、コロンビア、 ペルー、エクアドル			[Progress bar] メキシコ			

### 《投資》

グローバル開発体制のもと複数案件を検討中

- ・ 消化器領域および既存事業との親和性の高い領域の薬剤導入

### M&Aを含めた成長戦略

- ・ 現有事業と相乗効果を発揮する領域
- ・ 経営資源など効率的な展開が可能な領域

### 《その他》

- ・ 自社製品の海外導出の推進

### 1. 目的

経営の意思決定・監督機能と業務執行機能とを分離することにより、業務執行の責任と権限を明確にし、経営の機動性を高めるとともに、コーポレート・ガバナンスの一層の充実を図る。また、人財登用の機会を拡大し、経営層の育成を図る。

### 2. 概要

- ①執行役員を選解任および担当職務は取締役会決議により行う
- ②執行役員の任期は1年とし、再任を妨げない
- ③取締役は、執行役員を兼務することができるものとする
- ④執行役員は、取締役会が決定した会社の基本方針に従い、業務を執行する

### 3. 執行役員制度の導入時期

2022年6月29日

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

お問い合わせ先：広報部 西澤まで

Tel. 03-3661-1039

Fax. 03-3663-4203